

# 若者が夢を持てるプロジェクトを

あだちとしゆき  
足立敏之議員に聞く



若者が魅力を感じるプロジェクトの必要性を説く足立敏之議員

## 災害時の役割は不変

―建設業の未来を考える際に重要なキーワードは  
足立 若い人たちに魅力を感じて  
もらえるようなプロジェクト、仕事  
を提供し続けることが建設業界の大  
きな課題だと思います。例えば、6  
～4年の東日本ラインは、土木  
建築が成功させた面も大きいイン  
トでした。新幹線や高速度道路、高層  
ホテル、地下鉄、競技場などが整備  
され、オンラインが成功したとい  
えん思っています。また、震災  
成長期には本州四国連絡橋や関門

ンネル、高速度道路など、日本を更  
へしていくための仕事、建設業に力を  
発揮してもらえないプロジェクトが多  
くあります。造ったインフラを腐  
く使ってしまったりメンテナンスする  
ことにも力を入れなければなりません  
が、建設業の未来を考える時に、  
若い人が夢を持てるプロジェクトが  
必要です。私自身も、高校3年生の  
時にニュースで取り上げられていた関門  
橋の建設現場に感動を受けたこと  
が、土木の道を志したきっかけにな  
っています。

―災害対応における建設業の役割  
について  
足立 もともと国土交通省のTEC  
FORCEを立ち上げた時、災害  
時に発注者もめた建設分野全体が  
大活躍している状態を望んでいま  
す。強いのが、中野地区

備局長の時は、建設業にも民間  
EOFFORCEという名称で一緒  
に活動していただきました。九州で  
は学識者の方もTECDOOR  
R(テック・ドोर)として活躍  
していただいています。国土交通職員  
だけでなく建設分野全体が災害対応

の実働部隊になっていることを「見  
える化」して、組織化したと思っ  
ており、その考えは今も変わって  
いません。2004年の京浜東北線  
山手線、京都市北部由良川の水害に近  
畿地方整備局企画部長として対応  
し、報道の内容に憤慨する思いをし  
ました。自衛隊、警察、消防が取り  
上げられ、その次は国交省、国土部  
門、建設業、コンサルタントに光を  
当てない、目を向けない。その思い  
が自分の中にずっと残っていて、河  
川計画課長になった時、2008年  
度の予算要求の際、TECDOOR  
CEの制度要求をしました。24時間  
体制で頑張っている建設業の存在  
を知ってほしいという思いがベース  
になっています。災害時における建  
設業の役割は不変、未来永劫変わ  
りません。この言葉をなくすわけは  
ありません。

建設業の未来を考える時に大切な視点は何か、足立敏之の自民党参議院議員に考えを聞いた。高校3年生の時に見たニュースで取り上げられていた関門橋の建設現場の映像が土木の道を志すきっかけになったことを振り返り「若い人が魅力を感じるプロジェクトを提供し続けることが大切」との見解を示した。また災害対応における建設業の役割は「未来永劫変わらない」と力説し、自身が創設に携わった国土交通省のTEC—FORCE（テックフォース、緊急災害対策派遣隊）に関連して、建設分野全体が災害対応の実働部隊であることを「見える化」したいとの思いを語った。

―建設業の経営者、従事者が未来を構  
想するには改正品確法の修正もポイントです  
足立 日本の将来に思っているから建設  
分野が果たなくなればいけない役割を  
あります。自衛隊、警察、消防は予算  
算が付いて、給料ももらって活動してい  
ます。建設業の場合、苦しい仕事で  
て適正な利益率がない、その結果、災害  
対応の準備ができていません。きつ  
な環境にあります。そして、きつな環  
境の中で仕事すれば適正な利益率が  
確保しにくい状態の建設現場です。こ  
れが改正品確法の根本的な考え方です。力を  
尽かしてあげて、きつな環境を緩和す  
るために、健全経営で利益を上げてい  
る人を育てていただく必要があります。これは  
業界で改正品確法は非難の的ですが、技  
師として改正品確法のお手紙をいただ  
いたとき、運用指針の作成に携わった立場から  
すると、市町村まで徹底できないのは  
私の責任でもあります。市町村は建設業  
の技術系職員も少ないですが、まだ  
マローに運用指針の作成に携わった立場から  
すると、市町村まで徹底できないのは  
私の責任です。きつな環境を緩和す  
るために、健全経営で利益を上げてい  
る人を育てていただく必要があります。こ  
れは業界で改正品確法は非難の的ですが、  
技術系職員も少ないですが、まだマ  
ローに運用指針の作成に携わった立場  
からすると、市町村まで徹底できない  
のは私の責任です。きつな環境を緩和  
するために、健全経営で利益を上げて  
いる人を育てていただく必要がありま  
す。これは業界で改正品確法は非難の  
的ですが、技術系職員も少ないですが、  
まだマローに運用指針の作成に携わ  
った立場からすると、市町村まで徹  
底できないのは私の責任です。



本州と九州を結ぶ関門橋、足立議員が土木を志すきっかけになった

(NEXCO西日本 提供)